

令和4年度 第4回 奥山小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月15日（水） 12:45～15:15
- 2 開催場所 奥山小学校 4階会議室
- 3 出席委員 6名 猿田 重雄、河村 壽子、野沢 正敏、高田 直機、荒川 真行、森下 守継
- 4 欠席委員 仲田 伸吾
- 5 学 校 伊藤 孝明（校長）、吉川 利行（教頭）、荒谷 朋子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 小川 誠司（教育総務課）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 荒谷 朋子

9 議長の選出

高田委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議無くこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 学校関係者評価
- (2) 来年度の学校運営の基本方針説明と承認
- (3) 学校運営協議会の取組についての振り返り

11 会議記録

司会の高田委員から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価

議長の指示により、教頭より、資料に基づき本年度の学校評価について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・アンケートの公開はされるのか。（野沢委員）
→本日まとめたものを学校ホームページで公開する。（教頭）
- ・評価がとても良いが、特にゲームのルールの部分などは、本当に守れているのだろうか？という疑問もある。国語力の面でも、「読書がんばれた」の部分の引き上げを期待したい。（河村委員）
- ・相対的に見ると、安定した教育がされていると思う。保護者のアンケートで、子供に即した教育への望みが現れている。学び合い、議論し合うことをもっとしてほしい。（猿田委員）
- ・議論し合い、否定しない意見の交換をできる土壌を作るとよい。（高田委員）
- ・1年生の道徳のレベルが素晴らしい。各自の意見を色を通して言えていることがすごい。これができるなら、6年生のレベルをもっとあげられるのでは。高学年になると、おとなしくなってしまう。（野沢委員）
- ・少人数ならではで、コミュニケーションがとれているので、各自の意見が言いやすい。とてもよい傾向。キラキラプロジェクトの発表や司会でも前に立ってできている。（荒川委員）
- ・子供が学習の主体になれるようにするとよいと思う。先生が考えるのではなく、子供が考えられるようにするとよい。（猿田委員）

(2) 来年度の学校運営の基本方針説明と承認

議長の指示により、校長より、資料に基づき来年度の学校経営方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・キャリアプランの意味づけについて。相対する意見を自分で判断できるようにしていくことがよいのでは。(野沢委員)
- ・特別に支援すべき子供が増えていることはかなり大変だと思う。教員の確保、特に生徒指導やカウンセラーのような教員が補充される事が必要だと思う。2組の複数学年の指導は一人では限界がある。(猿田委員)
- ・保護者の学校に対する期待が大きくなっている。保護者の責任、地域の責任であるべき部分まで先生が背負わなくてもよいと思う。(高田委員)
- ・コロナ渦のおかげで、残しておくべき行事と、見直すべき行事の見直しができる。行事が多すぎた部分はある。『みなくる』の中で感じたこととして、縦割りのつながりがうすくなってきている。それも鑑みて、来年度の行事を見直していくとよい。(河村委員)

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の取組についての振り返り

各委員の自己評価に基づき、各自の意見を述べ、本年度の学校運営協議会自己評価をまとめた。(別紙参照)

(4) 学校より報告

- ①いじめ防止等のための基本的な方針について
- ②夢育やらまいかCS加算分の報告

その他報告事項等

(1) 来年度の予定について

①第1回運営協議会

日時：令和5年5月下旬 午後

内容：学校運営方針についての確認、いじめ対策の方針についての確認、本年度の方向性についての検討

②第2回運営協議会

日時：令和5年7月初旬 午後

内容：授業参観、児童の実態について情報交換

③第3回運営協議会

日時：令和5年10月初旬 午後

内容：前半の取組を振り返り、後半の方向性を確認

④第4回運営協議会

日時：令和6年2月中旬 午後

内容：学校関係者評価、次年度の学校運営方針説明、本年度の振り返り

(2) 次回議長選出

次回の議長は仲田委員に決定